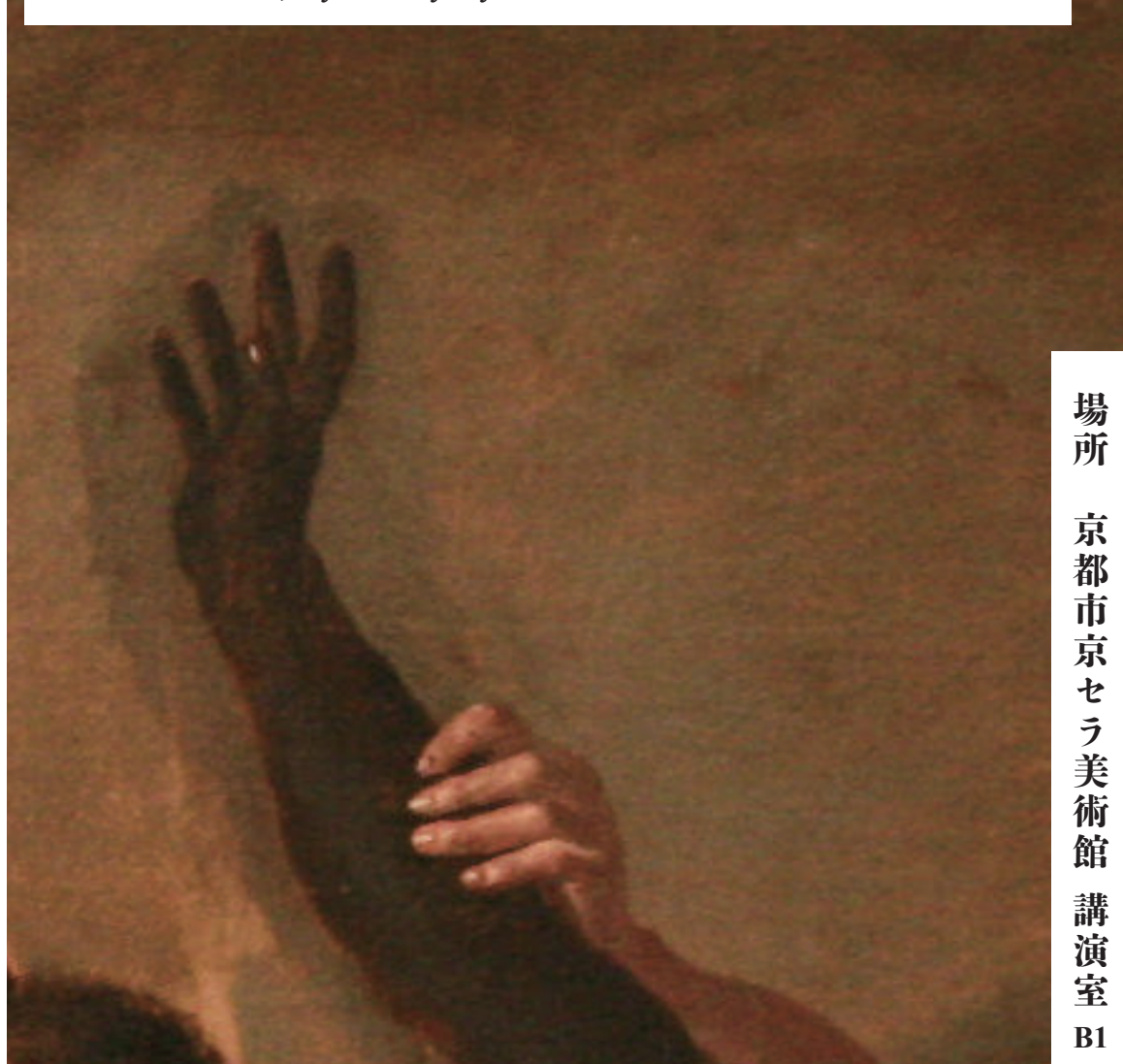


The past, present and future of “Le Rapt de la Nègresse”

Professor Joanna Woodall / Professor Emerita, Courtauld Institute of Art

Tuesday, 21 March, 2023 13:00~16:30

at Lecture Room, Kyoto City Kyocera Museum of Art



ジョアンナ・ウッドール Joanna Woodall

ヨーク大学で歴史を専攻した後、コートールド美術研究所にて美術史を学び、博士号取得(コートールド美術研究所)。クライストチャーチ・ピクチャー・ギャラリー(オックスフォード)、レイデン大学等を経て、1986年より2022年まで同研究所に勤務。同研究所での研究・教育のほか、サマセット・ハウスでのルーベンス展(2003-04)、ナショナル・ポートレート・ギャラリーにおける自画像展(2005)などの展覧会企画、主要学術雑誌の編集等にも携わる。

【主要著書&編著】

Money Matters in European Artworks and Literature, C. 1400-1750, Eds. J. Woodall and N. Seaman (Amsterdam University Press, 2022) *Ad Vivum? Visual Materials and the Vocabulary of Life-Likeness in Europe Before 1800*, Eds. Th. Balfé, J. Woodall and Cl. Zittel (Brill, 2019) *Antonis Mor: Art and Authority* (Waanders, 2007) *Portraiture: Facing the Subject* (Manchester University Press, 1997)



* 講演は英語で行われますが、当日、翻訳を配付いたします。



下記リンクもしくはQRコードからの申込をお願い致します。

<https://forms.gle/Hkw8qooMyu9WHZGE6>

主催：美術史学会

Organized by The Japan Art History Society

《黒人女性への暴行》の過去、現在、そして未来

辻佐保子美術史学振興基金 第8回講演会

講演者

ジョアンナ・ウッドール教授 — ロンドン、コートールド研究所名誉教授

日時 二〇二三年三月二十一日(火・祝) 午後一時~四時半

場所 京都市京セラ美術館 講演室 B1 【事前申込制・先着80名まで】